

西來寺報

二〇一二年

春彼岸号

特集 本堂改修及び庫裡改築の最終報告

春とはいえ、まだ寒い日が続きますが、皆様方においてはご健勝のことと存じます。

さて、今回も本堂及び庫裡の改修工事のご報告を申し上げます。

今回新築した廊下とトイレの部分を、ご報告しますと、お陰様で寺務室、多目的室、トイレが完成してすでに使用されております、なかでも長年懸案でありましたトイレがすっかり新しくなりました、快適にお使いいただけます。さらに車椅子の方のためのトイレとオストメイトの方のトイレも増設致しました。そして、車椅子の方のまま本堂に参詣いただけようスロープを設けました。これらの施設はもうすでに稼働中です。

次に本堂の改修報告ですが、今回の改修工事は思いのほか大がかりのものになりました。先ず屋根の小屋裏ですが、重い瓦屋根を支えるために四十数本のハネ木と呼

ばれる木材を追加し屋根の下がりを止めました。そして本堂の横から後ろまでの柱を全て交換して強度をたかめました(実は屋根をそのままにして仮柱を加えながらの交換でしたので、大工さんが一番苦労したところでした)また、四方の壁に荒壁パネルと呼ばれる耐震性のあるパネルボードが入り、外から漆喰で固めて外見上は従来の壁の様になりました。さらに、

取り付けられた仕口ダンパー



天井や床板の張り替え、また、床下のツカの部分は全て交換され新しい木材で補強しました、そして木材の交差するところ(仕口と言われるところ)には「仕口ダンパー」という金属板と金属板の間に粘性のたかいゴムの様なものを挟んで揺れを押さえる部品を五十カ所に取り付けました。これにより本堂床下の耐震性が強まりました。そして最後に向拝(本堂正面のぬれ縁の部分)をくみ上げました。以上、二月二十二日で本堂の工事は終了しましたが、今回の改修工事では完成後に見える部分はあまり多くないのですが、新築に等しいほどの大工事でした。

また、今回の工事とともに新たに床暖房の装置も入り、一部を除いて、皆さんの座る外陣は暖かい畳になりました。これにより寒い冬場も快適になるでしょう。そしてまた、この文章を書いているときはまだ本堂に、仏具が搬入されていませんので、未だご本尊は庫裡の中に安置されていますが、この春の彼岸には元に戻り、改修後のお披露目となることでしょう。

今回の改修工事にはいろんな方々の手間により完成致しました、寺社建築の「カナメ」の方々、また

「秋山建設」の皆さん、中にはいろいろの職人さん、左官の人、電気工事の人、配管工の人、火災、警備の施設を担当してくれた人、等々いろんな方々の尽力により完成しました。なかでも、長期間にわたってたずさわって下さった、棟梁の手島さんとお弟子の方々、そして何回も足を運んで下さった建築委員会の皆さん、西来寺の御門徒の皆様によって今回の改修工事を完成することが出来ました本当に有り難うございました。

棟梁とお弟子さん



最後に棟梁が「木造のお堂はコングリートと違って、手を入れれば何百年と保つよ」と言いました。

御正当報恩講に参詣しました

さる十一月二十八日に親鸞聖人七百五十回御遠忌御正当報恩講に西来寺、最光寺合同で参詣致しました。

当日は七百五十回忌御正当と言うこともあり、また春の御遠忌法要に、東日本大震災によって参加出来なかった御門徒が多かったせいか、通常の報恩講ご満座の約四倍の延べ二万人の人々が本山に参りました。本山に到着した午前九時にはすでに御影堂は満杯で御影堂後ろのモニターを見て参詣することになりました。法要の途中では年に一度の坂東曲ばんどうぎしが勤められました。(これは東本願寺に伝わるもので、僧侶が前後左右に激しく上体を揺り動かしながら念仏、和讃を称えるお勤めです。ハッキリとはしませんが一説によると、親鸞聖人が流罪に遭われて越後へ向かう途中、荒波にもまれる船のなかで念仏を称えたことに由来されたと伝えられています。)大勢のご門徒さんと荘厳な儀式のもとに無事七百五十回御遠忌法要の終わりを迎えました。



十一月二十八日 本山にて

曆寺を訪ねました。中でも西塔地区にある常行堂を見学させていただきました。ここは普段は非公開のお堂ですが、比叡山の方の特別のはからいで入れてもらいました。お堂の中は本尊阿弥陀如来の像が安置されてまして、その回りに廊下であり、ご本尊の周りを回れる様になってます。常行三昧とは九十日の間、念仏を称えながら不眠不休で廊下を歩く大変厳しい修行です。親鸞聖人も堂僧として二十年の間、比叡山にいたのでこの様な修行をしていたのかと思うとご苦労が偲ばれました。次号へ続く

春彼岸法要のご案内

三月十七日(土・彼岸入り)
三月二十日(火・彼岸中日)

午前の部：午前十一時より
午後の部：午後二時より

◎ 新装なった本堂での、
初めてのご法要です。
ぜひ、お参りください。

・御懇志の受付は、本堂内で致します。

・法要ご出席の方は、なるべく過去帳または法名軸をご持参ください。

・ご都合やご事情により、法要に出席できない方には、**申し経**(過去帳等をあらかじめお預かりし、法要の際ご本尊に奉獻)をお受けしますので、ご希望の方はお申し出ください。

寺子屋(三浦組開法会)のご案内

三浦組(真宗大谷派十ヶ寺)では、毎年各地より先生方をお迎えし、開法会を実施しております。本年度は、当西来寺に於いて、左記の予定で実施致します。どうぞ奮ってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

◎日時
四月十三日(金)

午後十二時半 受付
午後一時 開会
午後四時五十分 閉会

◎講師
常盤 知曉 師
仙台教区 安祥寺住職

◎会場
西来寺

◎参加費
千円(茶・菓子付き)

※会場準備の都合がございますので、参加ご希望の方は、お手数ですが、お寺までご連絡くださいますようお願い申し上げます。